【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公表番号】特表2008-535778(P2008-535778A)
【公表日】平成20年9月4日(2008.9.4)
【年通号数】公開・登録公報2008-035
【出願番号】特願2007-550482(P2007-550482)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｂ　61/00　(2006.01)
Ｃ２５Ｂ　11/08　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　23/44　(2006.01)
Ｃ４０Ｂ　40/18　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　69/612　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　67/343　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　19/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｂ　61/00　３００
Ｃ２５Ｂ　11/08　Ｚ
Ｂ０１Ｊ　23/44　Ｚ
Ｃ４０Ｂ　40/18
Ｃ０７Ｃ　69/612
Ｃ０７Ｃ　67/343
Ｂ０１Ｊ　19/08　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月6日(2009.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１０】
バイアスをかける工程は、約１秒間～３分間行われる請求項１に記載の複数の電極上で孤立Ｐｄ（０）触媒反応を行う方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、電極アレイデバイス（又は配列機器：array device）上で、電気化学的に孤立（隔離又は単離：isolated）Ｐｄ（０）触媒反応を行う方法を提供する。好ましくは、Ｐｄ（０）触媒反応はヘック反応である。具体的には、本発明の方法は、複数の電極上で孤立Ｐｄ（０）触媒反応を行う方法であって、複数の電極と金属又は導電性電極表面上にマトリックス又は被覆（又はコーティング）材料を有する電極アレイデバイスを準備すること、遷移金属触媒と閉じ込め剤（コンフィニング剤：confining agent）を含んで成り、前記電極アレイデバイスを浸す溶液を準備すること、及び前記電極アレイデバイス上で電圧又は電流により１又は複数の電極にバイアスをかけて、孤立Ｐｄ（０）触媒反応に必要な前記遷移金属触媒を再生することを含んで成り、その前記閉じ込め剤が各選択電極表

面を取り囲むボリューム（又は体積：volume）内に前記遷移金属触媒の拡散を制限する方法を提供する。